



乳幼児教育・保育推進事業 通信
～令和6年度 乳幼児教育・保育協働研修～



令和6年7月30日(火) 第5回研修会(保幼小連携分野)を開催しました。

61名の先生方と一緒に学び合いました。

(保育所(園)12名・幼稚園12名・認定こども園16名・小学校21名)



講師：宇治市教育委員会
学校教育課 副課長 天花寺 裕





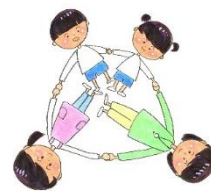
講師の先生の話の中で、心に残ったこと
(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を
教えてください。

まずは

- 互いに名前と顔を覚えよう。
- 互いの違いを理解しながら今あることを基に無理なくやってみよう。

つながりを大切に

- つながりを大切に→連続性、関連性、継続性を意識しよう。
- 気軽に話をするところから始めよう。



年間計画

- 年間計画に位置付けてみよう。

ルーティーン

- 要録に目を通す時期(要録確認週間など)を設定し、ルーティーン化してみよう。

保幼小中連携

- 小中連携を進めた過程を保幼小連携に活かしてみよう。
- 保幼こで培ってきたものを大事に引き継ごう。
- 保幼こ→小→中の接続のイメージを大切に連携していこう。(0からのスタートではない。育ってきたこと学んできたことを活かそう)



要録を活用するために

- 就学前の要録を園ごとではなく、クラスごとに分けてみよう。

全職員が関わる

- 5歳児の担任や1年生の担任だけではなく、学校・園全体の先生が関わることを大切にしよう。

就学までの流れ

- 小学校では、要録だけでなく、園訪問時の情報交換も活かしているよ。

実践重視

- 理念より実践重視、何か 1 つ行動に移せるようにしてみよう。

